

九州運輸局メールマガジン  
平成22年1月8日 第64号(発行日:毎週金曜日)  
~九州の明日を拓く運輸と観光~  
九州運輸局HPアドレス <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

今週も九州運輸局メールマガジンをご覧いただきありがとうございます。

#### 目次

- 1.九州運輸局ホームページアップ情報(12月25日~1月7日掲載分)  
プレス発表  
入札・契約情報  
九州統計情報  
お知らせ  
九州のうんゆ  
海技試験制度  
バス・タクシー・トラック
- 3.お知らせ  
“グリーン経営推進講習会”申込み期限が迫る!
- 4.九州運輸局セミナー  
タクシーのこと、知っていますか?
- 5.リレーコラム
- 6.編集長だより

#### 【九州運輸局ホームページアップ情報】(12月25日~1月7日掲載分)

##### プレス発表

###### 《総合》

- ・平成22年度国土交通省関係予算決定概要【九州運輸局関係】(12月28日発表)

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091228.pdf>

###### 《観光》

- ・台湾から九州への誘客促進を図るため台湾旅行雑誌招請を実施します!(1月7日発表)

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100107.pdf>

###### 《鉄道》

- ・鉄軌道駅における段差解消に向けた対応状況について(臨時報告等)(12月25日発表)

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091225\\_1.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091225_1.pdf)

###### 《人事異動》

- ・平成22年1月1日付人事異動一覧表(12月28日発表)

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091228\\_2.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091228_2.pdf)

##### 入札・契約情報

- ・企画競争実施予定情報

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou\\_100108.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou_100108.pdf)

- ・企画競争実施公示

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU\\_KOUJI](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI)

- ・物品役務入札公示

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN\\_CHOTATSU](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU)

- ・企画競争実施結果の公表

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/kikaku\\_kekka/100108.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/kikaku_kekka/100108.pdf)

##### 九州統計情報

- ・自動車保有車両数(平成21年11月末現在)

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j\\_touroku/syaryousuu2111.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/syaryousuu2111.pdf)

・新規登録自動車数（平成21年11月分）

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j\\_touroku/shinkitouroku2111.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/shinkitouroku2111.pdf)

・燃料別等自動車保有台数（平成21年11月末現在）

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j\\_touroku/nenryoubetsu21\\_11.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/nenryoubetsu21_11.pdf)

お知らせ

・能力認定試験（水先法関連）の公示について

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kaijoanzen/file13/nouryoku\\_kouji.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kaijoanzen/file13/nouryoku_kouji.pdf)

・締約国資格受有者承認試験の公示について

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kaijoanzen/file13/syounin\\_kouji.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kaijoanzen/file13/syounin_kouji.pdf)

九州のうんゆ

・2009年9月号

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kyushuunyu/pdf/21\\_9.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kyushuunyu/pdf/21_9.pdf)

海技試験制度

・平成22年度筆記試験の日程（4月、7月、10月、2月）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

バス・タクシー・トラック

・タクシー特定地域協議会（佐賀運輸支局分追加）

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya\\_k/file18.html](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file18.html)

## 【お知らせ】

“グリーン経営推進講習会” 申込み期限が迫る！

九州運輸局では、グリーン経営の普及・推進を図るため、1月28日大分市、29日福岡市においてグリーン経営推進講習会を開催します。

グリーン経営とは、グリーン経営推進マニュアルに基づいて一定レベル以上の取り組みを行っている事業者に対して、認証・登録を行うもので、同マニュアルに基づく事業者の環境改善の努力を客観的に証明することにより、取組意欲を高め、社会的評価の向上を図るとともに、業界における環境負荷の低減につなげていくものです。

平成21年度の開催は、今回が最終となります。

参加費用や資料代は無料ですので、一度、参加してみたいかがでしょうか。

申し込み締切りは、1月22日です。

詳しくは、下記URLに掲載しています。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/topics/file21/file211120.pdf>

## 【九州運輸局セミナー】

タクシーのこと、知っていますか？

法律上は一般乗用旅客自動車運送事業と称され、「一個の契約により乗車定員10人以下の自動車を貸し切って旅客を運送する事業」（道路運送法第3条第1号八）と定義されており、タクシー事業者と利用者が一個の運送契約により運賃を支払う約束で運送を引き受ける事業です。

ちなみに乗合バスは、個人個人が個別に運賃を支払う約束で、定まった時刻・

ルートを不特定多数の契約により運送を引き受ける事業です。

ここからは、タクシー車両の説明をさせていただきます。案外知られていない以外な事があるかもしれませんよ。

#### ・屋上灯

会社や無線局によっていろんなデザインに分かれています。この屋上灯は、実車になると消えるようになっており、夜は空車の目印にもなります。さらに重要な役目がありまして、ドライバーが自分の危険を知らせる非常灯の役割も持っています。もし屋上灯が点滅しているタクシーを見かけたら110番に通報してください。

#### ・料金メーター

日本では当たり前前の料金メーターですが、海外では料金メーターのないタクシーもあり、料金計算が不明朗なものも少なくないそうです。でも日本のタクシーにはすべてメーターが付いていますので、料金は明朗会計で安心。このメーターは領収書の自動発行や運転記録もつけてくれるスグレもので、1年に1回は国の検定も受けています。

#### ・無線

「いつでも、どこからでも」電話一本で飛んできてくれるタクシーは、お客様から電話を受けた無線局が、お客様のところに近いタクシーへ指示をする仕組みになっています。また、タクシーについている無線機から緊急通報もできるようになっています。ここ数年に、AVMタイプより、さらに正確に車両位置が把握できるGPSシステムのタクシーが増え、より近いタクシーが配車できるようになっています。

AVMシステムとは車両位置自動表示システムといい、電波を利用して、一定区域内に運転中のタクシー、そのタクシーの空車・実車等の状況が常時把握できるシステムです。

#### ・燃料

タクシーの多くは燃料がガソリンではなく、LPガスを使っています。燃費が良く、問題になっているNOxも少ない燃料です。環境にやさしいタクシーです。

#### ・ドア

自動で開くあのタクシーのドア。でも、実は運転手さんが手で開けている手動ドアなんです。後ろの安全を確認してから開けますので、ドアを開けるのは運転手さんにおまかせ下さい。

#### ・防犯板

気分を悪くしないで下さい。でもタクシーをねらった強盗がいるんです。突然後ろから襲いかかってきたり・・・ということがないとは限りません。そんなときのために、運転席と後部座席とを仕切る防犯ガラスを着けています。少し窮屈ですが、運転手さんの安全のためにご協力ください。

(自動車交通部旅客第二課)

### 【リレーコラム】

入省以来、30有余年が過ぎ、その間の殆どを船員関係業務に携わって参りました。

入省した頃は、船員の給与が大幅に上昇し、外航海運会社は、このままでは船員費が高すぎて運航できないと、「便宜置籍船」(税金の安い外国に船舶の国籍を置いて、乗組員の殆どを外国人にした船。)や「いわゆるマルシップ」という日本人船員(船舶職員)と外国人船員(主に、船舶職員の指揮の下に作業

を行う部員)が混ざって運航する日本籍船を増やしていきました。また、航海担当と機関担当が一部兼務をし、少人数で運航する「近代化実験船」(最後は、パイオニアシップといわれた11名での運航。)が開始された頃でもあります。これらの対応により、外航海運会社は船舶の運航コストを下げ、国際競争に負けないように頑張っていました。

しかしながら、このようなこともあり、年々、日本人の船員は減少していきました。船員を養成する教育機関(大学・高等専門学校・海上技術学校等)の養成定員も減少していきました。

船員、特に、外国まで運航する外航船の船員は、長期間家を離れ、限られた人数しかいない狭い「船」という職場で、一般の陸上社会から隔離された運命共同体の社会を強いられながらの生活、本当に特殊な世界であると思います。相当強い信念と乗組員相互の信頼関係を保っていくことが大変必要な職業です。

昭和50年代、まだ船員局という船員行政を専管している局があった時のこと、当時の局長が「人は石垣、人は城」と武田節の一節をよく話されていたことを思い出します。

人無くして産業なし、国なしです。

海運・水産業界でも、近年、船員不足が深刻な問題になっておりますが、我が国の出生率が低下している現在、船員を希望される若者が少ない状況が続いています。

どの職業でもそうですが、人を育てるのには時間もお金もかかります。海で働きたいという人が増えていって欲しいのですが、そのためには、海へのあこがれ、希望を抱いていただけるようにならないといけない。船は車や飛行機・鉄道・トラック・バス等のように身近に見る機会も少なく、そもそも、それが問題だ。という方もおられます。近年は、外航旅客船や航海訓練所の練習船などの見学会も開催されるようになり、徐々にではありますが海への関心を持っていただけるようになったように感じます。

日本は島国です。海外から食料や原材料を輸送しているのは船が中心です。そんな船をもっと身近に感じ、船を操っている船員という職務をもっと知っていただきたい。

ちょっと先になってしまいますが、7月17日から8月1日まで長崎において、「海フェスタながさき～海の祭典2010長崎・五島列島～」が開催されます。この機会に、是非!!!!。

(海事振興部次長 酒巻 英一)

#### 【編集長だより】

いよいよ今週からNHK大河ドラマで「龍馬伝」の放送が始まりました。第1回の放送は好評だったようです。坂本龍馬は皆さんもよくご存知のように幕末に活躍した人物です。土佐藩(現在の高知県)を27歳で脱藩した後は、当時としては無類の旅行好きであった彼は、生き方を探し、自由を求め全国を旅しています。中でも九州とは特に縁が深く各地に足跡を残しています。勝海舟と共に初めて九州を訪れた時は長崎から熊本・大分へと九州を歩いて横断しています。また、鹿児島県の霧島は伴侶の「おりょう」を伴い日本初のハネムーンに出かけた場所として有名です。長崎には薩摩藩の援助を受けて武器の取引をした亀山社中(後に日本初の株式会社となった海援隊の前身)を結成しました。二年前の大河ドラマ「篤姫」では多くの人がゆかりの地である鹿児島を訪れています。今年の「龍馬伝」でも龍馬人気にあやかって、観光の活性化に繋がれ

ばと期待されるところです。

皆様のお知りになりたい情報・ご意見・ご要望等をお聞かせください。  
編集部ではできる限りご要望にお応えしたいと思います。  
下記のメール又はファックスからお気軽にお寄せください。

九州運輸局メールマガジン編集長（九州運輸局総務部広報対策官）

森 益隆（もり ますたか）

mail : [mm-kyushu@gst.mlit.go.jp](mailto:mm-kyushu@gst.mlit.go.jp)

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

バックナンバーは、次の URL に掲載しています。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/top.html](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html)